

横浜に58階建てマンション

高層階にホテル併設

三井不・丸紅・森ビル

三井不動産レジデンシャルや丸紅、森ビルは1日、横浜市を中心街に地上58階建てのタワーマンションを建設すると発表した。約1200戸分に分譲住宅を設け、高層階には展望ラウンジを併設したホテルも導入する。10月に着工し2020年1月の完成を目指す。ホテルや分譲マンションなどを併設したタワー型は珍しい。みなとみらい線の馬車道駅(横浜市)前に建設する。敷地面積は1万3135平方メートルで延べ床面積は16万8200平方メートルとなる見通し。住居機能は5〜45階と52〜58階に設け、46〜51階に宿泊施設をつくる。低層部は商業施設とする。マンションの開発地域内にある近代建造物を生かした建設を進める。かつて生糸などを保管していた倉庫や事務所棟の一部を活用しながら、いずれも文化交流機能を導入する予定だ。